

巻頭言

『別府大学紀要 新制大学創立70周年記念号』の刊行をお祝い申し上げます。

1950年4月に開学された別府大学（当初は別府女子大学、1954年に男女共学の別府大学に改組）は、昨年70年の節目の年を迎えました。しかし、年初からの新型コロナウイルス禍により、計画されていた記念行事の多くが実施できない状況となりました。そうした中で、今回、創立70周年記念号が刊行されますのは、大変喜ばしいことでもあります。

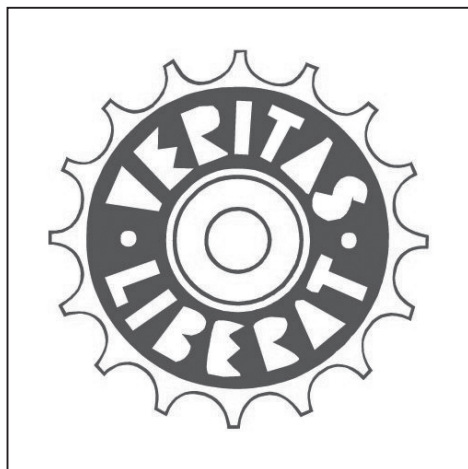
『別府大学紀要』は、大学開学の翌年1951年1月に『別府女子大学紀要』として第1号が発刊されました。開学間もなく、学生も少なく、学校経営が大変厳しい中で、経費の掛かる紀要がいち早く刊行されたことは、ある意味驚きです。自らも優れた文学者、研究者であった佐藤義詮学長を始め当時の先生方が、大学の基本理念として教員の学術研究を重要視していたことが推察されます。

今の時代、大学の在り方も多様化し、大学教員も授業、学生指導、就職支援等多くの役割が求められています。しかし、そうした多忙の中においても、本学の先生方には、開学当初の大学の理念に思いを馳せ、自らの専門分野を深く研究し、その研究成果を積極的に発表するとともに、講義にも反映していくことを大いに期待いたします。

この70周年記念号の刊行を機に、『別府大学紀要』が、本学の先生方の研究発表の場として更に充実していくことを祈念申し上げます。

令和3年2月

学校法人別府大学理事長 二宮滋夫



別府大学ロゴマーク



旧1号館の学長（理事長）室にあった置物。現在は附属図書館内に展示。